

Amor Alice

お迎えサポートブック

This is not a purchase,
this is a promise.



これから始まる、かけがえのない物語のために。

はじめに

— ご家族としてお迎えいただき、ありがとうございます —

この度は、Amor Aliceの猫ちゃんを
ご家族としてお迎えいただき、
ありがとうございます。

このガイドブックは、猫ちゃんとの
新しい生活を安心して始めていただくために
作成しました。

子猫を迎えることは、「かわいい」という
気持ちと同時に、その一生に寄り添う
責任を引き受けることでもあります。

すべてを完璧にこなす必要はありません。
わからないこと、迷うことがあれば、
いつでもご相談ください。

この一冊が、猫ちゃんとの毎日を支える
小さな道しるべとなれば幸いです。

Amor Aliceの想い

「命を育てること」は、
大切な未来を育てること。
私たちは、猫ちゃん一匹一匹を大切に育て、
新しいご家族との幸せな未来を
心から願っています。



Amor Aliceについて

— 愛のあるブリーディングを、当たり前 —

Amor Aliceは、千葉県香取郡多古町のラグドール専門の小さな家庭猫舎です。

一般家庭の一室を猫専用スペースとして整え、親猫と子猫たちがのびのびと暮らしています。

血統の美しさだけでなく、性格の穏やかさや人との調和、次のご家族で幸せに暮らせる資質を大切に考えています。



🐾 健康管理への取り組み



遺伝性疾患の検査体制

親猫は遺伝因子検査を実施し、すべてクリアした猫同士からのみ繁殖を行っています。

- ・HCM（肥大型心筋症）A31P・R820W
- ・PKD（多発性嚢胞腎）
- ・PK欠損症
- ・FIV（猫免疫不全ウイルス）
- ・FeLV（猫白血病ウイルス）

検査結果はご希望に応じて開示いたします。



感染症対策と予防管理

FIP（猫伝染性腹膜炎）やパルボウイルスなどのリスク疾患に対し、最新の知見に基づき予防管理を実践。

- ・ワクチンプログラムの徹底
- ・衛生管理と環境整備
- ・獣医師との連携



繁殖方針

母猫と父猫の健康を最優先に、無理のない繁殖サイクルと十分な休養期間を設けています。

血統・性格・人との調和を重視し、幸せに暮らせる子を育てています。

🐾 飼育環境



猫専用スペース

一般家庭の一室を猫専用スペースとして整えています。

ケージは必要な時のみ使用し、自由に動き回れる環境で成長します。



衛生管理と空気環境

- ・湿度・湿度管理（床暖房・24時間換気）
- ・医療グレードの空気清浄機を使用
- ・毎日の清掃と除菌を徹底



社会化プログラム

生後2～7週の間に、将来の生活に自然と対応できるよう各種ケアを体験。

- ・爪切り・ブラッシング
- ・シャワー・ドライヤー
- ・生活音への慣れ・人との触れ合い

🐾 お迎え後のサポート体制

生涯サポート

お迎えは、終わりではなく始まりです。

飼育相談、体調管理、フード選び、日常のちょっとした疑問まで、LINEやお電話でいつでもご相談いただけます。



LINE相談



お電話相談



安心サポート



「愛」を意味する名前に、猫への愛、里親様への愛、そしてすべての命が大切にされる世の中への願いを込めて。愛のあるブリーディングを、当たり前のスタンダードに。それが、Amor Aliceの目指す姿です。

子猫を迎える準備

— 必要なものを揃えましょう —

子猫との生活を安心してスタートするために、まずは最低限のアイテムを揃えましょう。その後は、少しずつ暮らしに合わせて必要なものを増やしていくのがおすすめです。



最低限

まずはこれだけ揃えましょう

1

ケージ



猫ちゃんが安心して落ち着ける場所として。自分だけのパーソナルスペースを用意してあげましょう。

2

フード・食器・給水機（セット）



子猫用のフードと、食器・給水機のセット。食べやすく、清潔に保てるものを選びましょう。

3

トイレ・猫砂



トイレ本体と猫砂。子猫が使いやすい浅めのタイプが安心です。

4

爪とぎ



専用の爪とぎを置いておくと、家臭へのひっかき防止になります。

5

キャリー



急病や災害時、健康診断などの通院や移動に必須のアイテム。通気性が良く、扉がしっかりロックできるものを選び、安全に移動できる環境を整えましょう。

脱走防止のためにも、安心して使えるキャリーを用意しておきましょう。

徐々に

暮らしに合わせて、少しずつプラス

ブラシ・爪切り・ケアグッズ



日々のケアに必要なアイテム。小さい頃から慣らすことで、お手入れが楽になります。

おもちゃ



運動不足の解消やストレス発散に。一緒に遊ぶ時間も大切です。

キャットタワー



高い場所が好きな猫に。安心して過ごせる居場所を作ってあげましょう。

ペット用消臭・清掃用品



排泄物の処理や消臭・お掃除に。あるととても便利です。

猫ベッド



安心してリラックスできる自分だけのくつろぎスペースに。

Point



Amor Alice

- ☑ 広めのキャリーをケージとして兼用するのもおすすめです。
- ☑ 普段から慣れた環境で、安心して過ごせる
- ☑ 病院へ行く際も落ち着いて移動できる
- ☑ 災害時の避難にもすぐに対応できる
- ☑ 猫ちゃんへのストレスを最小限にできます。



家の中を整える

TYPE-B

— 安全で落ち着ける環境づくり —

子猫が安心して過ごすためには、お家の中の環境づくりがとても大切です。まずは行動できる範囲を決め、危険な場所や入ってほしくない場所はあらかじめ対策をしておきましょう。



危険なものは片付ける

薬品、タバコ、アルコール、洗剤、観葉植物など、口にしたり触れると危険なものは片付けましょう。



脱走防止対策をする

玄関や窓、ベランダの扉はしっかりと施錠・ロックを。網戸や隙間からの脱走にも注意が必要です。



温度と湿度を快適に保つ

子猫は体温調節がまだ苦手です。室温は20～25℃、湿度は50～60%を目安に、快適な環境を整えましょう。



コード類はしっかり対策

電気コードや充電ケーブルをかじると感電や誤飲の危険があります。カバーや配線カバーを活用しましょう。



登れないもの・落ちるものに注意

不安定な家具や倒れやすいものは固定を。高い棚やテレビの上など、落下の恐れがある場所にも注意しましょう。



子猫の安心できるスペースを作る

ケージやサークルを落ち着ける場所に設置し、トイレ・食事・休息の環境をまとめて整えると、子猫も安心して過ごせます。

脱走防止

玄関や窓は施錠し、隙間や網戸からの脱走を防ぎましょう。

子猫の安心スペース

ケージやサークルを落ち着ける場所に置き、安心して過ごせるように。

危険なものは片付ける

薬品やタバコ、観葉植物など危険なものは手の届かない場所へ。

コード類はしっかり対策

かじり防止カバーなどを使い、感電や誤飲を防ぎましょう。

温度と湿度を快適に

室温20～25℃、湿度50～60%を目安に、快適な環境を保ちましょう。

おうちを整えることは、

子猫にとっての「安心の土台」になります。

無理に自由にさせず、少しずつ慣らしてあげましょう。



お家に慣れさせる

— 最初の数日～1週間の過ごし方 —

焦らず、
ゆっくりで大丈夫。



お迎え直後の子猫は、新しい環境に緊張し、不安を感じています。すぐに元気に遊ぶ子もいれば、しばらく隠れて様子を見る子もいます。どちらも自然な反応です。



大切なのは、子猫のペースに合わせることです。

◆ 子猫が見せやすい行動 ◆



隠れる

新しい場所に緊張して、隠れて様子をうかがいます。



夜鳴き

環境の変化で不安になり、夜に鳴くことがあります。



触りすぎない

無理に触るとさらにストレスを感じてしまいます。



緊張している

警戒して体に力が入り、固まることがあります。

【ポイント】

- ✓ かまいすぎない
- ✓ 無理に抱っこしない
- ✓ 部屋の探索は自由にさせる
- ✓ 家族全員が一度に触れない
- ✓ 静かな声とゆっくりした動作を心がける

子猫は安心できる環境で、少しずつ信頼を育てていきます。



子猫のペースに合わせて、空間を少しずつ広げていきましょう。

1日目～3日目 ケージや静かな一部屋で過ごす



安心できる範囲で、落ち着いて環境に慣れてもらいましょう。

4日目～ 部屋の中を少しずつ探索できるように



自分から出てくるのを待ち、自由に探索させてあげましょう。

5日目 行動範囲を少しずつ拡大



無理なく行ける場所を増やし、安心できる場所を複数つくりましょう。

1週間後 家全体に慣れていく



子猫のペースを大切に、焦らずゆっくり見守りましょう。

子猫のペースを大切にすれば、必ず心を開いてくれます。
最初の1週間は、安心できる環境づくりが何よりのサポートになります。



静かな環境を保つ



同じ時間にごはんやお世話を



安心できる場所を用意する



無理せず、見守る姿勢で



小さな変化も見逃さない

先住猫・先住犬がいる場合

焦らず、段階を踏んで安全に慣れさせましょう

新しい子猫を迎えるとき、先住猫や先住犬がいるご家庭では、それぞれのペースを尊重することが何より大切です。無理に会わせず、少しずつ距離を縮めていきましょう。



大切なのは、安全な距離と時間をかけた信頼づくりです。



大切な5つのステップ

①

隔離する



まずは子猫を静かな部屋に隔離し、先住猫・先住犬と直接会わせないようにします。安心できる環境を用意し、ストレスを最小限に。

②

匂いを交換する



お互いの匂いに慣れもらうため、タオルやブランケットを交換します。「匂いは仲間の存在を知る」ための大切なステップです。

③

ケージ越しで慣らす



ケージ越しやベビーゲート越しに、お互いの姿を見せます。短時間から始め、良い印象で終わるようにしましょう。

④

少しずつ距離を縮める



落ち着いて過ごせるルートになってきたら、少しずつ距離を縮めます。時間や場所を限定し、無理のない範囲で進めましょう。

⑤

同じ空間で過ごす



お互いが落ち着いていられるようになったら、同じ空間で自由に過ごせるように。焦らず、ゆっくり信頼関係を築いていきましょう。

！ 威嚇やストレスサインには注意しましょう

無理に近づけると、恐怖やストレスから攻撃やケガにつながる可能性があります。以下のようなサインが見られたら、すぐに距離をとり、前のステップに戻りましょう。

猫のストレスサイン



背中を丸める・毛を立てる



シャーッと威嚇する



隠れる・動かない



耳を伏せる・硬直する

犬のストレスサイン



体が硬直する



吠える・歯を見せる



目をそらす・あくび



尻尾を下げる・耳を伏せる

成功のポイント

♥ それぞれのペースを尊重する

先住猫・先住犬の性格や年齢によって慣れるスピードは異なります。比較せず、子猫のペースに合わせて進めましょう。



🕒 短い時間から始める

最初は数分から。良い印象で終わることが、次につながる大切なポイントです。



🎁 良い経験を積み重ねる

お互いが落ち着いている時に、褒めたりおやつをあげたりして、「会う＝いいことがある」と思えるようにします。



🛡️ 安全第一を徹底する

興奮してしまう場合は、すぐに中断して距離をとります。ケガやトラウマを防ぐことが最優先です。



Point



- 焦らず、段階を踏むことが成功への近道です
- 子猫・先住猫・先住犬、みんなの気持ちを最優先に
- 必ず飼い主さんがそばで見守り、安全を確保しましょう
- うまいいかなくても大丈夫。時間をかければ必ず慣れていきます



食事と栄養

健康な成長を支える、毎日の大切な時間

子猫の体はとても小さく、消化吸收の機能もまだ未熟です。
年齢や体調に合わせて、無理なく食べられる環境を整え、
栄養バランスのとれた食事を心がけましょう。



ご飯の回数の目安

～生後2か月	1日 4～5回
2～4か月	1日 3～4回
4～6か月	1日 3回
6か月以降	1日 2回

Point

少量を
回数多くが
基本です



食べないときは？

- ❑ 体調不良のサインの可能性もあるため、様子を観察しましょう
- ❑ 環境の変化・ストレスで一時的に食べないこともあります
- ❑ トッピングを変える、少し温めるなど工夫してみましょう
- ❑ 1日以上食べない場合は、病院に相談しましょう



お水について

- ❑ いつでも新鮮な水を飲めるように清潔な状態をキープしましょう
- ❑ 水飲みは、器・自動給水器のどちらでもOK
- ❑ 子猫は水をあまり飲まないことがあるため、ウェットフードの活用も◎



おやつについて

- ❑ 与えすぎは肥満や消化不良の原因に
- ❑ 1日の摂取カロリーの10%以内が目安
- ❑ しつけやコミュニケーションに上手に活用しましょう



子猫に必要な栄養素

たんぱく質

筋肉や臓器の発達をサポート



脂質

エネルギー源。
皮膚や被毛の健康を保つ



ビタミン・ミネラル

免疫力や骨の成長を助ける



水分

体温調節や代謝に重要



子猫専用フード（総合栄養食）を選ぶことが大切です。
人間の食べ物は絶対に与えないようにしましょう。



食器選びのポイント

- ❑ 安定してひっくり返りにくいもの
- ❑ 広くて浅めの形状で、ひげが当たりにくいもの
- ❑ 清潔に洗えて、衛生的に保てる素材を選びましょう



「食べること＝生きること」

まずは食べられたことをたくさん褒めてあげましょう。



食べさせてはいけないものと フードの切り替え方

— 子猫の健康を守るために —

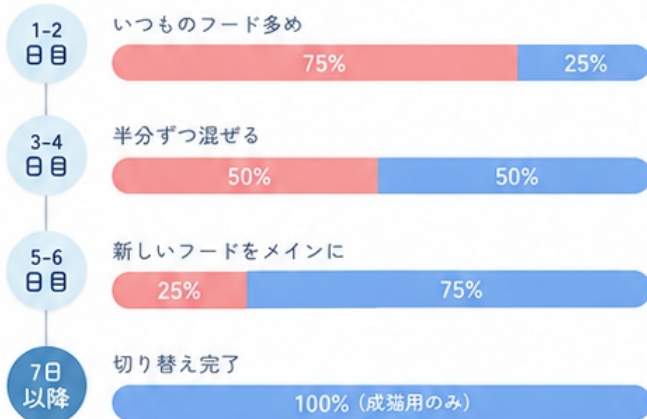
人にとって安全な食べ物でも、猫にとっては有害なものがあります。
また、フードの急な切り替えは消化不良の原因に。
正しい知識で、子猫の健やかな成長をサポートしましょう。



フードの切り替え方

生後12ヶ月頃を目安に、成猫用フードへ切り替えます。
急に変わると消化不良を起こすことがあるため、1週間ほどかけて
徐々に慣らしていきましょう。

● 子猫用フード ● 成猫用フード



✓ 切り替えのポイント

- 便の状態や食欲を確認しながら進めましょう。
- 軟便や嘔吐が見られた場合は、切り替えのペースをゆるめましょう。
- どのフードでも、新しい環境やストレスでも食欲が落ちることがあります。
- しっかり食べてくれることを優先し、無理に進めないことが大切です。

✗ 食べさせてはいけないもの

猫にとって有害なものは、体調不良や中毒を引き起こすことがあります。
誤って口にしないよう、十分注意してください。

✗ ネギ類 (玉ねぎ、長ねぎ、にら、にんにく等)
赤血球を壊し、貧血を引き起こします。



✗ アボカド
中毒症状 (嘔吐・下痢・呼吸困難など) を
起こす成分が含まれます。



✗ イカ、タコ、エビ
消化が悪く、消化不良や下痢の原因になります。



✗ チョコレート、ココア
カフェイン・テオブロミンが中毒を起こし、
嘔吐・下痢・けいれんの原因に。



✗ 人間用の牛乳
乳糖をうまく分解できず、下痢を起こしやすい
体質の子が多いです。



✗ ブドウ、レーズン
腎不全を引き起こす可能性があります。



! 少しだけなら大丈夫、はありません。
絶対に与えないようにしましょう。



💧 お水はいつでも新鮮に

子猫は水分が不足しやすいため、いつでも
飲めるようにしましょう。

- ・ 器は清潔にし、毎日新しい水に交換する
- ・ 複数の場所に置くのもおすすめ
- ・ よく飲むかチェックし、異変があれば
獣医師に相談しましょう



🍪 おやつはごほうび程度に

おやつはしつけやコミュニケーションに役立ち
ますが、与えすぎは肥満や偏食の原因に。

- ・ 1日の総カロリーの10%以内が目安
- ・ ドライタイプや子猫用おやつを選ぶ
- ・ 食事のバランスを崩さないことが大切



💖 子猫の食事の基本

- ✓ 良質なたんぱく質をしっかりと
- ✓ 成長に必要な栄養バランスを意識
- ✓ 急な変更は避け、ゆっくり慣らす
- ✓ 食事は楽しい時間にすることが大切



こんなサインがあれば見直しましょう

- ✓ 食欲がない、食べムラがある
- ✓ 軟便や下痢、嘔吐が続く
- ✓ 体重が増えない、または急に増えすぎた
- ✓ 毛づやが悪い、元気がない



子猫の食事は、健やかな成長の土台になります。
毎日の「おいしいね」が、安心と信頼につながります。



トイレを教える

— 子猫の習性を理解する —

猫は本来、決まった場所で排泄する習性を持っています。
ただし、お迎え直後の子猫は、新しい環境にまだ慣れておらず、
トイレの場所がわからないことがあります。

叱る必要はありません、習性を理解し、落ち着いて
使える環境を整えましょう。

静かで落ち着ける
場所が安心するにゃ



🐾 トイレの教え方 (ステップ)

1 静かで落ち着ける場所に設置する

人の出入りが少なく、安心して使える場所に
トイレを置きましょう。



2 おしっこの付いたものをトイレに入れる

臭いがあると、そこがトイレだと認識しやすく
なります。(ティッシュや猫砂の一部でもOK)



3 ソワソワしたらそっとトイレへ

クンクンしたり、床をかいいたりしたら排泄の
サイン。静かにトイレへ誘導します。



4 失敗しても叱らない

叱ると恐怖心が強くなり、トイレを嫌いになる
原因に。静かに片付け、臭いをしっかり消臭しましょう。



5 失敗した場所はしっかり掃除する

臭いが残ると同じ場所で繰り返すことがあります。
消臭スプレーや重曹などでしっかり消臭を。



💡 多くの子猫は、数日〜1週間ほどで自然と覚えていきます。

❗ トイレの失敗、こんな原因が考えられます

- ・トイレが汚れている、砂の量が少ない
- ・トイレの場所が落ち着かない、うるさい
- ・トイレの数が足りない(多頭飼いの場合)
- ・体調不良(膀胱炎、便秘など)
- ・ストレスや環境の変化



相相をしたら、しっかり掃除して臭いを残さないことが大切です。
何度も続く場合は、動物病院に相談しましょう。

☁ 多頭飼いの場合のポイント

- ・トイレの数は「猫の数+1個」が理想です。
- ・それぞれが落ち着ける場所に設置しましょう。
- ・トイレを取り合うと、ストレスや粗相の原因に。
- ・相性が悪い子同士は、トイレの場所を分けると安心です。



🐾 猫トイレの種類と特徴 それぞれにメリット・デメリットがあります。猫ちゃんと飼い主さんに合うものを選びましょう。

鉱物系トイレ (固まる砂タイプ)



メリット

- ・猫が一番好きと言われている
- ・しっかり固まり、取りやすい
- ・消臭効果が高い製品が多い
- ・価格が比較的安い



デメリット

- ・粉が舞いやすい
- ・重くてゴミ出しが大変
- ・鉱物のにおいが気になることも

システムトイレ (チップ+シート)



メリット

- ・シートが尿を吸収し、においが少ない
- ・お手入れが簡単
- ・砂の飛び散りが少ない

デメリット

- ・初期費用がやや高い
- ・チップやシートのランニングコストがかかる
- ・砂をかき混ぜるのが好きな子には不向き

便利ですが、気に入らない子もいます。



自動トイレ



メリット

- ・自動で掃除してくれるので衛生的
- ・においが広がりにくい
- ・外出が多い方に便利

デメリット

- ・価格が高い
- ・音に敏感な子は慣れが必要
- ・故障時のメンテナンスが必要

※猫によっては
慣れるまで
時間がかかる
ことがあります。

♥ 快適なトイレ環境のポイント

- ☑ 毎日掃除して、清潔を保つ
- ☑ 猫砂の量は 5〜7cm が目安
- ☑ トイレは静かで安心できる場所に
- ☑ 定期的にトイレの丸洗いや砂の全交換をする



◆ こんなサインがあったら見直しましょう

- ・トイレ以外で排泄してしまう
- ・トイレに入るけど、すぐに出てくる
- ・トイレの前で鳴く、落ち着かない
- ・やたらと砂をかく、隠そうとする



🐾 トイレは猫にとって安心できる大切な場所。優しく見守りながら、猫ちゃんが「ここが一番落ち着く」と思える環境をつくりましょう。

子猫の健康管理

— 毎日の健康チェックが、元気な未来をつくれます —

子猫の時期は、病気のサインが見えにくく、急に悪化することもあります。
日頃の観察と、適切な医療・予防で、大切ないのちを守りましょう。

緊急受診のサイン

次のような症状が見られたら、すぐに動物病院を受診しましょう。

- ぐったりして元気がない
- 食欲がない・水を飲まない
- 繰り返す吐く、下痢が続く（血が混じる）
- 呼吸が速い、口で息をする
- けいれんを起こした
- お腹が膨らんで硬い、痛がる
- 体温がいつもより高い・低い（38.0℃以下／39.5℃以上）
- 目やに・くしゃみ・鼻水がひどい

迷ったら、
早めの受診が安心です。



夜間や休日の救急病院も調べておきましょう。

去勢・避妊手術について

望まない繁殖を防ぐだけでなく、病気の予防や問題行動の軽減にもつながります。

おすすめの時期（目安）		期待できるメリット
去勢手術（オス）	生後5〜7か月頃	● 生殖器の病気予防 ● マーキングや発情の軽減 ● ストレスやケンカの減少 ● 長生きにつながることも
避妊手術（メス）	生後5〜7か月頃	

！ 手術は全身麻酔が必要です。信頼できる病院で、体調の良い時にいきましょう。

早めの相談が
安心につながるにゃ
🐾



ワクチン接種スケジュール

子猫は免疫がまだ弱いので、複数回の接種が必要です。

時期（目安）	接種するワクチン
6〜8週齢	混合ワクチン（1回目）
9〜12週齢	混合ワクチン（2回目）
12〜16週齢	混合ワクチン（3回目）

3回接種後の考え方

🐾 ペットホテルに預けたり、ほかの猫と触れ合う機会がある子
→ 年に1回の追加接種がおすすめです。

🐾 完全室内飼育で、他の猫と触れ合う機会がない子
→ 3回目以降のワクチンは、2〜3年に1回でOKです。

💡 ワクチンは、病気の予防だけでなく、
重症化を防ぐ大切な役割があります。



粗相をしたときは、しっかり掃除を

ニオイが残ると、同じ場所で繰り返してしまうことがあります。
しっかり掃除し、ニオイを残さないことが大切です。

掃除のポイント

- ・汚れを取り除く
- ・ペット用の消臭剤を使用
- ・トイレの砂も清潔に保つ

やってはいけないこと

- ・叱らない（猫は理由がわかりません）
- ・強いニオイの洗剤はNG（逆効果になることも）

かかりつけの動物病院を 見つけましょう

— いざという時の安心のために —

子猫の生活が始まったら、早めに動物病院を見つけておきましょう。
近所で気軽に相談できる病院と、高度な医療が提供できる病院。
この2つを把握しておくことで、安心感が大きく変わります。

① 近所のかかりつけ医

病院名 _____
住所 _____
電話番号 _____

② セカンドオピニオン（高度医療）

病院名 _____
住所 _____
電話番号 _____

毎日の健康チェックリスト

- ☐ 元気に遊んでいる
- ☐ 食欲がある
- ☐ 水をしっかり飲んでいる
- ☐ うんち・おしっこが正常
- ☐ 目・鼻・口がきれい
- ☐ 体に異常（できもの・脱毛など）がない



子猫の健康を守る3つの基本

- 1 日々の観察と記録
- 2 予防医療をきちんと受ける
- 3 異変に気づいたらすぐ相談

この3つが、元気な毎日につながります。



元気なうちに一度
受診しておくのもおすすめです。

健康診断を受けることで、
病気の早期発見や、
今後の予防計画が立てやすくなります。



普段のお手入れ

— 健康を保つためのケア —

お手入れは、健康管理と信頼関係づくりの時間です。
無理せず少しずつ慣らしていきましょう。

気持ちいいにゃ～



📅 日常～数週間に1度

- ブラッシング
- 歯磨き（できる範囲で）

🕒 ときどき必要

- 爪切り
- 目、耳、鼻のお手入れ
- お風呂（必要なときのみ）

🐾 ① ブラッシング

抜け毛を取り除き、毛玉や皮膚トラブルを防ぎます。
スキンシップにもなり、リラックス効果も◎

ポイント

- ✓ 子猫のうちから優しく慣らす
- ✓ 毛の流れに沿って、優しくとかす
- ✓ 嫌がるときは短時間で終わらせる

おすすめのブラシ

スリッカーブラシ
もつれ・抜け毛を取る



やわらかブラシ
仕上げ・マッサージに



ブラシのコツ

毛並みに沿って
やさしくすべらせるように
ブラッシングしましょう。
特に換毛期は
こまめに行うのがおすすめです。

🐾 ② 爪切り

伸びすぎると、ケガや家具のひっかき傷の原因になります。
2～3週間に1回を目安にチェックしましょう。

ポイント

- ✓ 先端の透明な部分だけをカット（血管に注意）
- ✓ 嫌がる場合は、1本ずつ短時間で
- ✓ 切りすぎたら、止血パウダーで対処を

爪を切る目安

- ・ 爪の先がカーブしており、床やタオルに少し引っかかる長さになったときが目安です。
- ・ 爪の先端の透明な部分（白っぽい部分）だけをカットします。
- ・ ピンク色の部分（血管・神経）が見えたら、それ以上は切らないようにしましょう。

爪切りの注意点

明るい場所で、猫をリラックスさせてから行いましょう。
不安な場合は、無理せず
少しずつ慣らしていくことが
大切です。

🐾 ③ 歯磨き

歯垢や歯石の予防は、口臭や歯周病の予防につながります。
子猫のうちから慣らすことが大切です。

ポイント

- ✓ 毎日が理想、まずはできる範囲でOK
- ✓ 歯ブラシやガーゼで優しく磨く
- ✓ 歯磨きジェルやペーストを使うと効果的

おすすめアイテム



指サック
歯ブラシ



猫用歯ブラシ



歯磨きジェル・
ペースト（猫用）

歯磨きのコツ

最初は口元を触ることに慣れさせ、
少しずつ歯に当てる練習を。
ごほうびをしながら
楽しい時間にしましょう。

💡 お手入れを楽にするコツ

- ✓ 子猫のうちから少しずつ慣らす
- ✓ おやつやごほうびでポジティブな経験に
- ✓ 嫌がるときは無理せず、短時間で終わらせる
- ✓ 毎日同じ時間に行くと習慣になります

⚠️ こんなときは動物病院へ

- ・ 被毛がベタつく、フケが多い
- ・ 爪の根元が赤い、出血する
- ・ 口臭が強い、食べにくそう
- ・ 目や耳が赤い、においがする



嫌がるときは無理をせず、
短時間で終わらせましょう。



災害・脱走対策

— 大切な家族を守るために — 🐾

いつ起こるかわからない災害や、ふとした拍子の脱走。

日頃からの備えが、愛猫の命を守ります。

落ち着いて行動できるよう、今から準備しておきましょう。



🏠 地震が起きたら

- まずは自分の身の安全を確保しましょう。
揺れがおさまったら、猫の安全を確認します。
- 無理に探し回らず、落ち着いて行動しましょう。
- 家具の転倒防止や、日頃の備えが大切です。



🚗 キャリーを準備しておきましょう

- いざという時にすぐ持ち出せるよう、普段からキャリーに慣らしておきましょう。
- キャリーの中にお気に入りのタオルやおもちゃを入れておくと安心します。
- 避難所でも、キャリーが安心できるプライベート空間になります。



🔍 万が一、迷子になってしまったら

- すぐに近所を探す
- ポスターを作って掲示する
- 動物病院や保健所に連絡する
- SNSや迷子サイトに掲載する
- 警察に届け出る

早く見つかるよう、情報を
広く発信することが大切です。❤️

ポスター（例）

猫を探しています



名前：○○
性別：女の子
特徴：長毛・青い目
連絡先：000-1234-5678

🔒 脱走防止対策

- 玄関や窓の二重ロックを徹底しましょう。
- 網戸やベランダの隙間にも注意が必要です。
- 来客時や換気時も、猫の行き先を必ず確認しましょう。
- 首輪や迷子札の装着も有効です。



「うちの子は大丈夫」と思っている、
一瞬のすきに脱走してしまうことがあります。
日頃からの対策が、事故を防ぎます。

📱 マイクロチップ装着の義務について

2022年6月1日から、動物愛護管理法の改正により、ペットショップなどの動物取扱業者は、販売する犬猫へのマイクロチップ装着が義務となりました。

🐾 マイクロチップは装着済みです

当猫舎の子猫は、すべてマイクロチップを装着してお渡ししています。
（首の後ろの皮下に、米粒ほどの小さなチップを挿入します）

装着部位のイメージ



♥️ マイクロチップのメリット

「かわいそうかもしれない…」と心配されることもありますが、メリットはたくさんあります。

- ✓ 迷子になっても、確実に身元がわかり、飼い主のもとへ戻れます。
- ✓ 災害時や保護されたときに、迅速に連絡を受け取れます。
- ✓ 首輪や迷子札のように、外れたり壊れたりする心配がありません。
- ✓ 一生に一度の装着で、半永久的に効果があります。

⚠️ 所有者の変更をお忘れなく

引っ越しや連絡先の変更、譲渡などで飼い主が変わった場合は、必ずマイクロチップの登録情報を変更してください。

登録情報が古いままだと、連絡が届かないことがあります。

（環境省の「犬と猫のマイクロチップ情報登録サイト」から手続きできます）

あとがき・連絡先



これから始まる毎日が、
やさしく、幸せな時間になりますように。

新しい環境に慣れるまで、戸惑うことや不安になることも
あるかもしれません。

そんな時は、いつでもお気軽にご相談ください。

小さなことでも、できる限りお力になれば嬉しいです。

そしてもしよろしければ、

成長した姿や、日々の何気ないひとコマを

ときどき見せていただけたら幸いです。

愛情いっぱいの中でのびのびと過ごしている様子を拝見できた時、
ブリーダーとしてこれ以上の喜びはありません。

この子が、たくさんの愛情に包まれながら

健やかに、長く幸せに暮らしていけますように。



これからも、どうぞよろしく願いいたします。



LINEでつながる

ご相談やご連絡はこちらから
お気軽にどうぞ。



Instagramでつながる

日々の猫たちの様子や
成長記録をお届けしています。



メール

cattery227.amor.alice@gmail.com



電話番号

090-8742-6180



LINE

<https://lin.ee/4A4dqHU>



Instagram

https://www.instagram.com/cattery_amor.alice/

動物取扱業登録情報

動物取扱業登録：販売

登録番号：【23-香健福714-5】

登録年月日：2024年1月30日

有効期限：2029年1月29日

動物取扱責任者：柴田 竜弥



この子と出会えた奇跡に、心から感謝しています。

ご家族のもとで幸せに過ごしてくれることが、私たちの願いです。

もしよければ、成長した姿を見せていただけたら嬉しく思います。

その時はブリーダー本望に尽きます。

何かあれば、いつでもご連絡くださいね。

